

日本基督教団(東京教区・北支区) 創立 1970 年 11 月 1 日		No. 2804		今年の聖句		(Zoom ID 「607 777 8018」 PW 「roba1970」 担当 石田・賈・坂・山崎)	
百人町教会週報		2024 年 7 月 21 日		見、若者は幻を見る。ヨエル三の一		「わたしはすべての人にわが霊を注ぐ。あなたたちの息子や娘は預言し、老人は夢を	
主日礼拝				司会 小島悦子		✦来週の集会	
				証詞 佐藤宣子		主日礼拝 7月28日(日)午前10時半 証詞 賈 晶淳氏	
				奏楽 木田みな子		牧師招聘委員会 7月28日(日) 礼拝後	
				受付 泉谷五十鈴		8月世話人会(Zoom) 7月31日(水) 午後7時	
前奏 Prelude 日にして光なるキリストよ 第1節						第20回日韓青少年合同修養会 8月1日(木)-4日(日)	
讃美 Hymn 58(み言葉をください)						✦消息と案内	
聖書 Scripture 詩編13編1-6節(旧844p)						賈牧師休暇 済州・8月1日-29日	
祈祷 Prayer						次回聖書研究会(Zoom) 9月4日(水)午後7時半	
主の祈り C Lord's Prayer C 93-5 C(147p)						聖書 ローマの信徒への手紙3章 担当 池田啓基氏	
献金 Offering						✦特別献金	
献金の祈り Offering Prayer						夏季献金 246,000円(16口、予算45万円)	
報告 Report						円谷 恵氏(教会のため)、河田 恵氏(教会のため)	
証詞 Testimony 「不思議なプレゼント」						空閑祐美氏(誕生日感謝)、空閑厚樹氏(誕生日感謝)	
祈祷 Prayer						✦先週の集会報告	
讃美 Hymn 200(小さいひつじが)						対面(子供) Zoom 計 席上献金	
食前の祈り Prayer before meals						主日礼拝 7/14 14(1) 9 23 10,500	
共食 Commensal						聖書研究会 7/17 8 8	
応答 Response						ろばを読む会 9/10	
祈祷 Prayer						パンをさく会 9/19	
後奏 Postlude 日にして光なるキリストよ 第2節より						✦8月・礼拝・会員日誌担当	
次週				司会 証詞 奏楽 受付・献金 会員日誌		※週報に関する連絡は山崎麻里子氏へ yamazaki@gmail.com	
山崎麻里子 賈 晶淳 北村恵子 長谷川まつ子 小川和男				詩編一三の四		司会 証詞 奏楽 受付・献金 会員日誌	
						4 雨宮道子 増田 滋 千葉道代 権田一正 小池恵子	
						11 空閑厚樹 牧師招聘委 木田みな子 榎本征子 高瀬浩之	
						18 小川ひとみ 千葉道代 前中榮子 雨宮道子 赤尾泰子	
						25 石田美智代 秋葉正二 斐 宣恵 山崎麻里子 権田一正	

集会場所 〒169-0075 東京都新宿区高田馬場 1-34-13 東京家政専門学校 2階 ホームページ <http://www.hyakunincho-church.com>

連絡先 〒112-0002 文京区小石川 2-17-41-301 賈 晶淳(カ ジョンソン) 携帯 090(6176)5403 E-メール hyakuninchoroba@gmail.com

◇牧師日誌◇

No. 781

四つの換気扇と四つの勉強机がある家。

小石川に住むようになり初めての夏を迎えている。雨上がりの一昨日から暑さが半端でない。韓国では昨日も今日も大雨で浸水被害がニュースを占めているが、東京では雨もあまり降らずに梅雨明けになってしまったようだ。市谷台町では30度前後でも窓を開けて過ごして来たがこちらでは我慢できずクーラーをつけている。これまで自分がクーラーをつけると電力が足りなくなるのではないかと心配していたのは3.11のトラウマかも。

今の住まいには二つの部屋があり、ヘルメット、ゴーグル、防塵マスク、革製の軍手が二つずつ置いてある。地震や火災発生の時に使われるものであろう。また各部屋には換気扇があり、台所と浴室のものを合わせると四つの換気扇がある。寝室として使っている部屋の換気扇が小型のクーラーのような変わった形をしていてリモコンまでついている。スイッチを入れるとクーラーのように静かに動く。調べて見ると三菱電気の「ロスナイ」という製品で、換気扇を回しても外の温気や冷気を遮断し、部屋内の温度を70%以上保つ仕組みになっている。「ロスナイ」とは「熱損失が無い」という意味らしく、要するに密閉状態の部屋でクーラーを付けながら換気ができる優れたものである。それを知り昨晩は両方を回しながら快適に寝ることができた。

もう一つは勉強机が四つもある。部屋は狭くなるが、確かに便利である。パソコンで狭くなっているため机が二つ並べてあって確かに便利である。勿論もう二つの机も有効に使っている。東の窓側にパソコンを置いてある机があり、ディスプレイ越しのビルの上に尖塔の部分だけであるがスカイツリーが見える。

◇会員日誌◇

趙 容來

先週主日(14日)の午後、朴聖慈牧師の1周忌追慕会を蚕室教会で行いました。救恩とともに、去年の秋夕(韓国のお盆)の時から構想し準備した追悼行事が無事に終わり、ほっと一息ついています。

朴聖慈牧師は昨年8月6日、主日の明け方に天に召されました。ところが、なぜ1周忌追悼会を3週間も早めたのでしょうか。故人が生きていたら、7月16日に94回目の誕生日を迎えるはずなので、その日を控えて直前の主日午後に合わせてからです。

故人は誕生日を旧暦で守っていました。昨年93回目のお誕生日は7月28日でしたが、当時はとても誕生日を祝うところではありませんでした。今回の追悼会は、故人が創立の旗を掲げた韓国キリスト教長老会教団の全国女性教職者会とともに準備しました。追悼礼拝のすべては女性教職者会が担当してくれました。

追悼資料集も出しました。追悼資料集は大きく二つに分けられます。まずは故人が牧会40周年を迎えた1993年頃に行なわれたインタビュー記事があります。その中には、故人の牧会40年についての回顧と新しい牧会ビジョンなどが語られています。次は故人に対する私なりのオビチュアリー(obituary)です。

西欧の高品格新聞には「オビチュアリー」というコーナーがあり、ここには亡くなった方とのエピソードや業績などを称える追悼の文が載ります。現に朝日新聞も毎週土曜日の夕刊に「惜別」というコーナーを置き、オビチュアリーを載せています。

私は、故人を初めて出会った1981年初夏から今まで、故人のそばにいながら常々感じていたことについて10本の文書でまとめました。抑えきれない気持ちを書かざるを得ませんでした。1周忌を控えて朴聖慈牧師がめっきり懐かしくなります。